

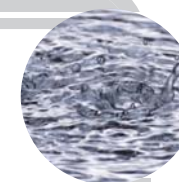
<http://www.ishizaka.gr.jp/>



石坂グループ  
環境活動レポート



2013



# 環境方針

私たち石坂グループは、

リサイクル事業及び廃棄物処理事業を通じ、

業界のリーディングカンパニーとして、

地域・社会の環境保全への取組みをサポートし、

環境に責任の持てる企業として有益な環境活動を追及いたします。

- 1 取扱品目全般において、環境負荷の軽減、エネルギーの知的利用の促進、コスト削減の追及を実施し、最適な企業活動を目指します。
- 2 事業活動の定期的見直しを実施し、継続的改善・汚染の予防・環境負荷の軽減を第一に事業活動を実施いたします。
- 3 環境企業として、子供達の環境教育を積極的に実践し、施設の一般公開・情報の開示を推進いたします。
- 4 当社において、有効資源の活用・確保を推進し、最終処分廃棄物の削減、有効利用の促進につなげます。
- 5 環境関連法規及び、同意したその他の要求事項を、すべて順守し、業界のレベルアップ・モラルの向上を目指します。
- 6 この環境方針は、当組合の環境活動の指針として全従業員に周知し、関連する一般の方すべてに公開致します。

2010年9月1日  
有価物回収協業組合 石坂グループ  
理事長 石坂孝光

# 事業概要

## 名称

有価物回収協業組合 石坂グループ

## 所在地

本 社 工 場：熊本県熊本市東区戸島町2874番地

大津事業所：熊本県菊池郡大津町杉水3746番地

西部事業所：熊本県熊本市西区上代町7丁目28-11

## 代表理事

代表理事 石坂孝光

## 設立

設 立 昭和54年5月24日

## 出資金

出資金 7,000万円

## 事業内容

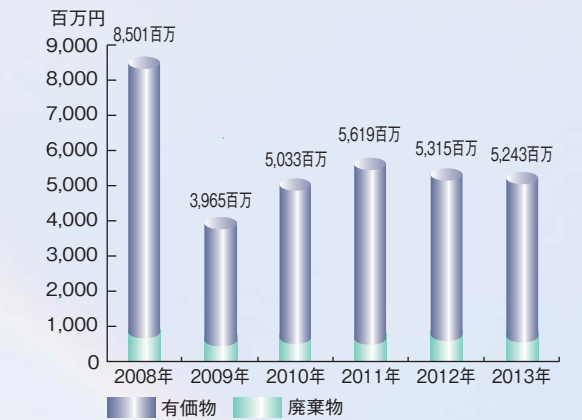
- 有価物（製鋼原料、製紙原料、各種非鉄、ガラスカレット、RPF、再生樹脂等）の回収・販売
- 一般廃棄物の収集運搬、リサイクル、処理
- 産業廃棄物の収集運搬、リサイクル、処理
- 廃棄物リサイクルに関するコンサルティング

## グループ会社

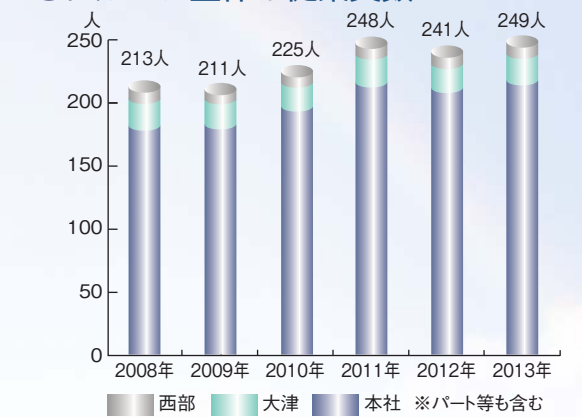
(有)アイワ有価物処理企業 (有)石坂商店 (有)辻崎商店

(有)再生資源リサイクルセンター (有)石坂容器

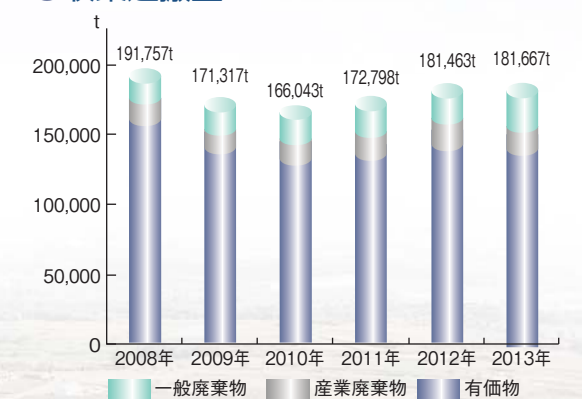
## ●グループ全体の売上げ



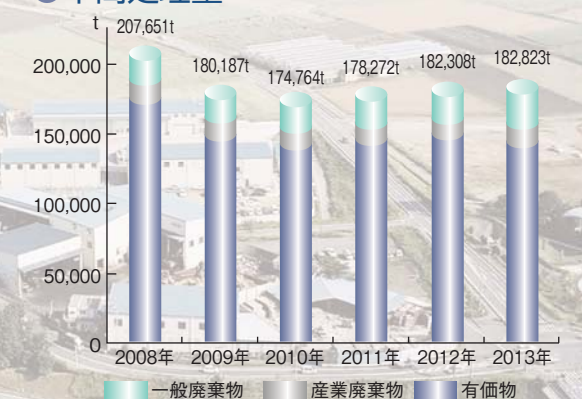
## ●グループ全体の従業員数



## ●収集運搬量



## ●中間処理量





## 環境マネジメントシステム

石坂グループは、本社工場にて、2001年度にISO14001の認証を取得しました。

また、環境保全の一端を担う企業として、石坂グループ全体の環境負荷を把握し、更なる環境への取組や意識の向上をはかるため、2006年度から本社工場に大津事業所及び西部事業所を加えた石坂グループ全体でエコアクション21 (EA21) の取り組みをスタートし、2007年度に認証を取得しました。

エコアクション21の取組体制は、本社工場で構築しているISO14001の環境マネジメントシステムをベースにしています。

### 環境マネジメントシステム組織図



## 環境目標と環境活動計画

### 環境目標

中長期の環境目標は、2011年度実績を基準として、下表のとおり設定しました。

項目	単位	基準	環境目標			
			2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
工場の二酸化炭素排出量	中間処理量あたり	kg-CO <sub>2</sub> /t	10.50	10.39 (1%削減)	10.29 (2%削減)	10.18 (3%削減)
収集運搬の二酸化炭素排出量	収集運搬量あたり	kg-CO <sub>2</sub> /t	7.55	7.47 (1%削減)	7.40 (2%削減)	7.32 (3%削減)
水使用量	中間処理量あたり	m <sup>3</sup> /t	0.130	0.129 (1%削減)	0.128 (2%削減)	0.127 (3%削減)
廃棄物等排出量	リサイクル率	%	98.0	98%以上	98%以上	98%以上
工場見学、体験学習者	工場見学・体験学習者数	人	1,829	1,829 (現状維持)	1,829 (現状維持)	1,829 (現状維持)

### 環境活動計画

環境目標を達成するため、環境活動計画を下表のとおり設定しました。

項目	2011年度	2013年度
工場の二酸化炭素排出量	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工機械時間短縮及び切り替え運転の実施</li> <li>作業終了時の機械のブレーカーオフの実施</li> <li>エアコンの使用期間の限定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工機械時間短縮及び切り替え運転の実施</li> <li>作業終了時の機械のブレーカーオフの実施</li> <li>エアコンの使用期間の限定</li> </ul>
収集運搬の二酸化炭素排出量	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイドリングストップの実施</li> <li>配車の見直し</li> <li>稼働率のUP</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイドリングストップの実施</li> <li>配車の見直し</li> <li>稼働率のUP</li> </ul>
水使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水タンク増設等の設備改善検討</li> <li>洗車時の雨水使用の促進と使用時間の短縮</li> <li>節水強化月間の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水タンク増設等の設備改善検討</li> <li>洗車時の雨水使用の促進と使用時間の短縮</li> <li>節水強化月間の実施</li> </ul>
廃棄物等排出量	<ul style="list-style-type: none"> <li>RPF原料化の強化</li> <li>マテリアル原料化の強化</li> <li>選別方法・収集方法の改善の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>RPF原料化の強化</li> <li>マテリアル原料化の強化</li> <li>選別方法・収集方法の改善の強化</li> </ul>
工場見学、体験学習者	<ul style="list-style-type: none"> <li>出張体験学習</li> <li>学校関係への案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出張体験学習</li> <li>学校関係への案内</li> </ul>



# グループ全体の物質収支

2013年度実績

## 工場系

エネルギー投入量 (単位: MJ)			水使用量 (単位: m <sup>3</sup> )	
	電気	化石燃料	合計	水使用量
本社工場	20,406,726	12,307,367	32,714,093	14,049
大津事業所	4,913,270	1,892,856	6,806,126	1,296
西部事業所	841,998	699,841	1,541,839	295
合計	26,161,995	14,900,064	41,062,058	15,640



CO <sub>2</sub> 排出量 (単位: kg-CO <sub>2</sub> )			
	電気 ※3	化石燃料	合計
本社工場	799,246	845,363	1,644,610
大津事業所	188,933	129,288	318,221
西部事業所	32,378	47,922	80,300
合計	1,020,558	1,022,573	2,043,131

※1 入出荷のタイムラグがあるため、中間処理量=再資源化等量+単純焼却最終処分量にはなっていません。  
 ※2 廃棄物から再資源化されたものも含まれます。  
 ※3 CO<sub>2</sub>の排出係数は、H22年度九州電力のCO<sub>2</sub>の実排出係数0.385kg-co<sub>2</sub>/kwhを使用しています。この係数は3年間使用します。

## 輸送系

エネルギー投入量 (単位: MJ)	
	化石燃料
本社工場	18,182,437
大津事業所	2,421,009
西部事業所	333,259
合計	20,936,704



CO <sub>2</sub> 排出量 (単位: kg-CO <sub>2</sub> )	
	化石燃料
本社工場	1,247,410
大津事業所	166,323
西部事業所	22,895
合計	1,436,628



# 環境目標と実績

2013年度実績

## 地球温暖化防止のために

工場及び車両による「二酸化炭素排出量」について、2013年度は、工場及び車両ともに環境目標を達成できませんでした。

工場の環境目標が達成できなかったのは、基準年である2012年度に比べ、古紙の取扱い量が減少したことで、工場の稼働効率が下がったためと考えられます。

## 水資源保護のために

工場・車両の洗浄及び本社工場の処理工程の「水使用量」について、2013年度は、環境目標を達成できました。

## 循環型社会形成推進のために

工場からの廃棄物等排出量の「リサイクル率」について、2013年度は、環境目標を達成できました。

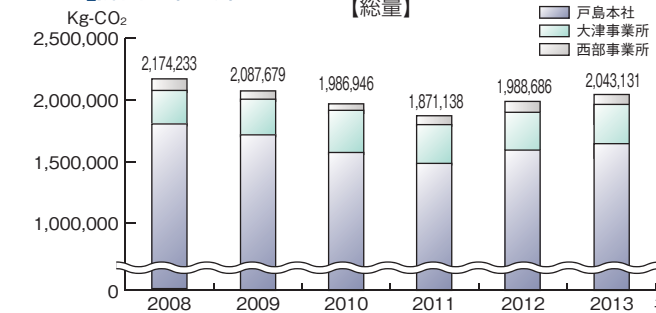
## 地域・社会貢献のために

工場見学・体験学習者数について、2013年度は、環境目標を達成できました。

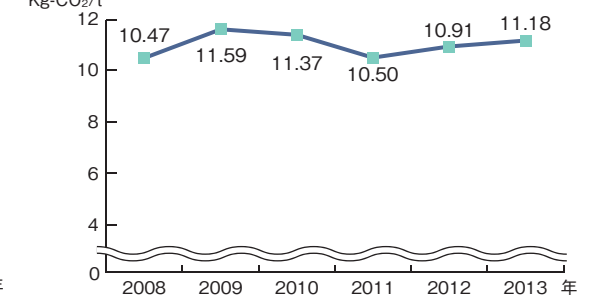
項目	単位	2012年度実績	2013年度		主な環境行動計画	
			目標	実績		
二酸化炭素排出量	工場 総量	kg-CO <sub>2</sub>	1,871,138	—	2,043,131	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工機械時間短縮及び切り替え運転の実施。</li> <li>作業終了時の機械のブレーカーオフの実施</li> <li>自家発電設備の使用停止。</li> <li>アイドリングストップの実施。</li> <li>急発進、急加速の禁止及び法定速度の厳守。</li> <li>省燃費運転講習会、メンテナンス向上研修会の実施。</li> </ul>
	中間処理量あたり	kg-CO <sub>2</sub> /t	10.50	10.29 (2%削減)	11.18 目標非達成	
	車両 総量	kg-CO <sub>2</sub>	1,304,674	—	1,436,628	
	収集運搬量あたり	kg-CO <sub>2</sub> /t	7.55	7.40 (2%削減)	7.91 目標非達成	
水使用量	総量	m <sup>3</sup>	23,270	—	15,640	<ul style="list-style-type: none"> <li>場内配管等の漏水の有無の確認と補修。</li> <li>洗車時の雨水使用の促進と使用時間の短縮。</li> <li>節水強化月間の実施。</li> </ul>
	中間処理量あたり	m <sup>3</sup> /t	0.1305	0.128 (2%削減)	0.0855 目標達成	
廃棄物等排出量	再資源化等量	t	175,423	—	165,209	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正処理の推進による、リピーター・固定客の確保。</li> <li>排出先への廃棄物のリサイクル化への啓蒙啓発活動。</li> <li>廃棄物の分別及びリサイクル研修会の実施。</li> </ul>
	単純焼却最終処分量	t	3,555	—	4,773	
	リサイクル率	%	98.0	98.0	97.2 目標非達成	
工場見学・体験学習者数	人		1,829	1,829	2,927 目標達成	行政や学校に対し、工場見学等を受け入れていることを宣伝する。

※環境目標は、2008年度実績を元に設定しています。

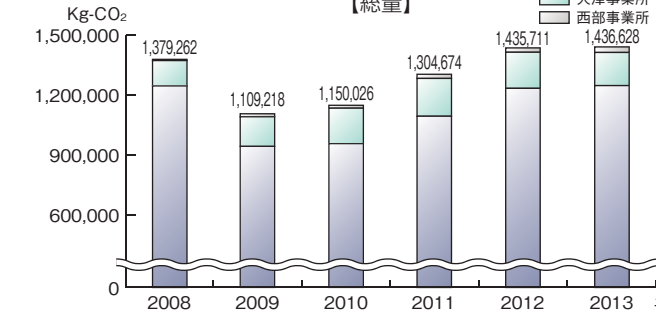
### CO<sub>2</sub>排出量(工場)



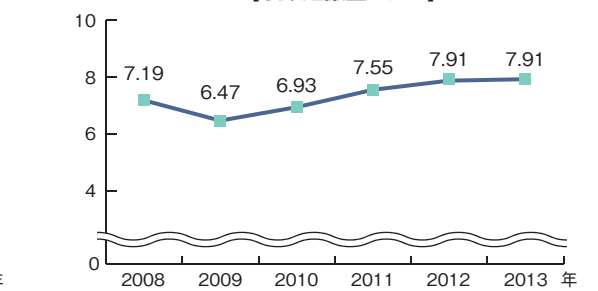
### 【中間処理量あたり】



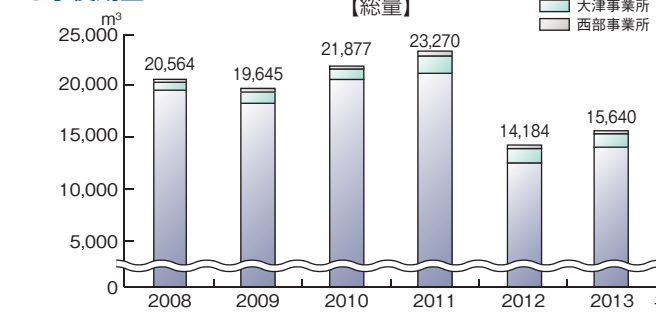
### CO<sub>2</sub>排出量(車両)



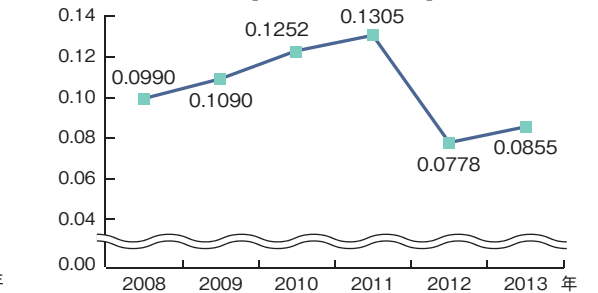
### 【収集運搬量あたり】



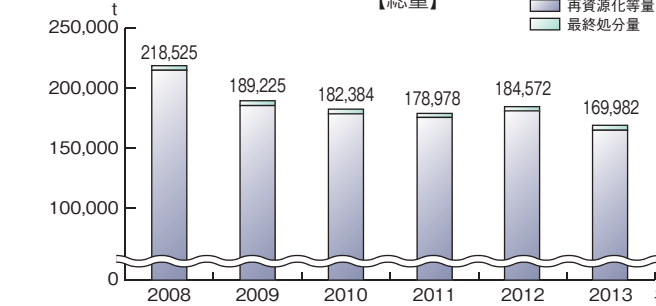
### 水使用量



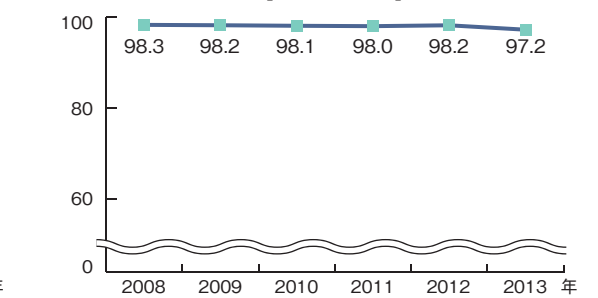
### 【中間処理量あたり】



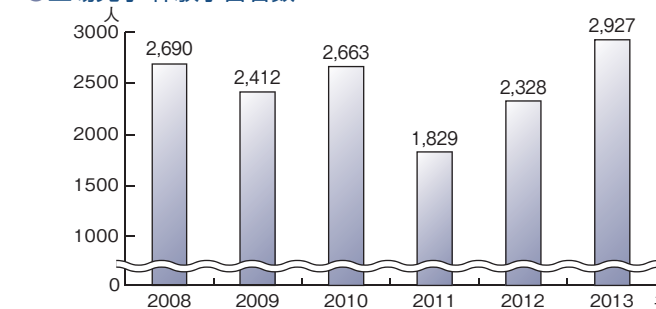
### リサイクル率



### 【リサイクル率】



### 工場見学・体験学習者数





## 環境関連法規等の遵守状況

ISO-EA21事務局及び部門長は、年1回、順法性の確認を行い、環境記録として保管しています。問題が発見された場合は、環境管理責任者の下、是正処置及び予防処置を実施しています。

2013年度は、当社グループによる環境関連法規違反、環境に重大な影響を与える事故、訴訟等はありませんでした(別紙参照)。

許可の取得状況については、最新情報を以下の情報公開ページにて公開しています。

情報公開ページ [http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index\\_u2.php?UserID=18531](http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u2.php?UserID=18531)

## 代表者による全体評価と見直しの結果

### 【全体の評価】

#### ●環境目標の達成状況

環境目標の達成状況は、5つの環境目標に対して達成できたのは2つでした。

目標未達となっている二酸化炭素排出量は、基準年である2011年度に比べ、古紙の取扱量が減少したことで、工場の稼働率が下がったためと思われます。

今後は、経済状況の上昇による事業活動の活性化と、具体的な指示や教育を実施できる部門長・環境委員の育成を行っていきます。

リサイクル率については、混合廃棄物の量が増えてきたためと思われます。

#### ●環境活動計画の実施及び運用結果

おおむね計画通り実施できていましたが、二酸化炭素排出量・リサイクル率については、環境目標の達成にはつながりませんでした。

#### ●環境関連法規等の遵守状況

遵守評価の結果、すべての環境関連法規等を遵守できていました。

#### ●外部からの環境に関する苦情や要望など

本年も取引先企業からの視察及び処分場の確認などで多くの方が訪問されました。それ以外では、行政主催の環境フェア、中・高生の職場体験、地域自治会の見学などもありました。

### 【見直しの結果】

教育のレベルアップが実行できず、従来の仕事内容・方法とは違う業務方法により、全体の効率の低下と、環境意識の欠落を招いていると考えられる。具体的な指示・指導を根本から徹底し、厳しく改善に取り組んでほしい。

- 環境方針：次回の環境方針の見直しに合わせて、化学物質の適正管理について追加する。
- 環境目標：変更の必要はないものと判断する。
- 環境経営システム：何をすべきか・何を目指すべきかを明確にするEMSの確立と教育・指導に力を注ぐ。各部門の取組改善とプログラム内容の見直しを行う。

## 地域・社会貢献活動

### 工場見学・体験学習

地元地域、社会貢献活動として、工場見学や体験学習を積極的に受入れています。2013年度は、2,927名の見学者・体験学習者を受け入れました。



### TKUの日2013 in わくわく江津湖フェスタ

2013年5月11日(土)、12日(日)に開催された、テレビ熊本主催の『TKUの日2013』に環境教室で出展しました。



### くまもと環境フェア2013

2013年5月18日(土)、19日(日)に熊本市主催の「くまもと環境フェア2013」に出展し、ビーズ玉によるプレスレット作り、紙すき体験を行いました。







# 許可取得状況一覧

## 主な資格取得者数

(H26年1月現在)

産業廃棄物収集運搬	12名	フォークリフト技能講習	91名
産業廃棄物処分	4名	ショベルローダー技能講習	71名
特別管理産業廃棄物収集運搬	15名	車両建設機械運転技能講習(小型)	15名
技術管理士(中間処理施設)	2名	車両建設機械運転技能講習(大型)	36名
技術管理士(破碎・リサイクル)	9名	車両建設機械運転技能講習(解体)	1名
ごみ処理施設技術管理士	4名	小型移動式クレーン技能講習	35名
一般廃棄物事業者(収集運搬・処分)	1名	ホイストクレーン特別講習(天井クレーン)	16名
冷媒回収技術者	8名	玉掛け技能講習	36名
環境カウンセラー	3名	クレーン運転業務	5名
公害防止管理者(水質)	1名	はい作業主任技術者	3名
第一種衛生管理者	1名	ガス溶接技能講習	25名
特定化学物質作業主任者	5名	アーク溶接技能講習	10名
危険物取扱保安責任者(乙種第四類)	9名	高所作業車運転技能講習	18名
危険物取扱保安責任者(丙種四類)	8名	運行管理者	9名
甲種防火管理者	7名	解体工事施工技士	2名
		安全運転管理者	3名
		特定化学物質及び四アルキル鉛	12名
		大型一種	41名
		大型特殊	3名

## 登録・許可証

熊本県廃棄物再生事業所登録

熊本市リサイクル事業者認定

熊本市・大津町一般廃棄物処分業許可

熊本県・熊本市産業廃棄物処分業許可証

熊本市・合志市・菊池市・大津町・  
益城町・菊陽町一般廃棄物収集・運搬業許可証

熊本県・福岡県・佐賀県・大分県・  
山口県・熊本市・福岡市・北九州市・  
大牟田市・大分市・鹿児島県・鹿児島市  
産業産廃物収集・運搬業許可証

熊本県公認計量証明事業所

### ◆ 本レポートについて ◆

■ 2014年9月発行 第8版

■ 対象取組期間/2012年12月~2013年11月

■ 編集担当者/EA21事務局 草野哲示、佐藤万里子



21世紀のリサイクルシステムをサポートする  
**有価物回収協業組合**  
**石坂グループ**  
0800-200-5501

ホームページ：<http://www.ishizaka.gr.jp>  
メール：[info@ishizaka.gr.jp](mailto:info@ishizaka.gr.jp)



## ●本社工場

熊本県熊本市東区戸島町 2874 番地

本社工場：  
TEL. 096 (389) 5501 FAX. 096 (389) 5502  
環境事業部直通番号：  
TEL. 096 (389) 5517 FAX. 096 (349) 7225  
家電品処理センター：TEL. 096 (389) 7711

## ●大津事業所

熊本県菊池郡大津町杉水 3746 番地  
TEL. 096 (293) 0561 FAX. 096 (293) 0943



## ●西部事業所

熊本県熊本市西区上代町 7 丁目 28-11  
TEL. 096 (329) 2002 FAX. 096 (329) 2003

